

# 議会だより



豊穣の秋 ご飯をいっぱい食べましょう。9 月 24 日 富里 佐藤泰夫さんのほ場

## 目 次

国へ物申す、意見書案可決	2
自治功労表彰及び、教育委員に同意	3
選挙管理委員、農業委員を推薦	3
京町保育園の増築予算を承認	4、5
議会の仕組み②	6
町の財政状況・研修報告	7
議会による町政の調査	8 - 11
一般質問に 4 氏が登壇	12 - 15
元気な少年団、地域の話題	16

# 国へ物申す

意見書案を可決

## 自給率目標達成に向け、農業政策の 安定的継続と税制措置を。

提案者 厚真町議会議員 木戸嘉則  
賛成者 同右 吉岡茂樹 大捕孝吉  
下司義之 木本清登

賛否 全会一致

### 意見書要旨

北海道が持つ潜在的能力を最大限に発揮し、持続可能な農業の確立を図るため、平成24年度農業予算編成ならびに税制改革にあたり、政府に対し、次の事項を要望する。

- 1、日本経済・社会の再建に全力で取り組むこと。
- 2、農業経営体が真に必要なとする政策を確立すること。
- 3、省庁横断的な政策体系としてパッケージで取り組むこと。
- 4、TPPへの参加は断じて行わないこと。
- 5、平成24年度予算においても万全な予算を確保し、生産者が安心して営

農に取り組めるよう制度の法制化等、中長期的に安定して継続される政策とすること。

6、ほ場の基盤整備、排水対策ならびに農畜産物の集出荷・調整施設などの生産基盤の確立と優良品種や技術の試験研究・開発が重要であり、併せて生産現場への組織的普及活動が不可欠であることから、これらに必要な万全の予算を確保すること。

7、軽油取引税やA重油の石油石炭税の課税免税措置の恒久化など、農業経営の安定に必要な税制措置を講ずること。

## 拡大生産責任（EPR）拡大とデポジット制度の法制化を。

提案者 厚真町議会議員 今村昭一  
賛成者 同右 了安正秋 井上次男 海沼裕作 三國和江

賛否 全会一致

### 意見書要旨

容器包装廃棄物の発生抑制、再利用・再資源化を促進し、循環型社会の実現を図るためOECDが提唱する拡大生産者責任、及びデポジット制度の導入について、早期に制度化を図るよう強く要望する。

## 北海道の交通・運輸行政を充実する為、運輸支局の拡充を。

提案者 厚真町議会議員 木戸嘉則  
賛成者 同右 吉岡茂樹 大捕孝吉 下司義之 木本清登

賛否 全会一致

### 意見書要旨

- 1、住民の安心・安全な交通運輸を支える行政は、国が責任を持つて直接実施すること。
- 2、国の出先機関、地方運輸局を充実すること。
- 3、広大な北海道の交通・運輸行政を充実するために、運輸支局を拡充すること。

議会で受理した請願・陳情・要望等

平成23年6月7日から9月7日までの受理件数は、意見書4件、陳情書3件の合計7件で、内3件を定例会で意見書として採決し、残り4件は議員配布としました。

以下議員配布としたものです。

○森林・林業・木材産業政策の積極的な展開に関する意見書

○「地域の自主性及び自主性を高めるための改革の推進を図るための関係法令の整備に関する法律」の施行に伴う条例改正についての意見書

○JR三島（北海道・四国・九州）・貨物会社に係る税制特例の恒久化を求める意見書

○2012年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書

# 町の振興に対する自治功労者に感謝

公職歴等  
民生委員児童委員・厚真消防団団長  
防災会議委員



大西武雄氏

公職歴等  
厚真町農業協同組合代表理事組合長  
とまこまい広域農業協同組合代表理事組合長  
まちづくり委員会委員・健康づくり推進協議  
会委員・防災会議委員



浅野勝善氏

公職歴等  
厚真町議会議長・社会教育委員・まちづくり  
委員会委員・民生委員推薦会委員・生涯学習  
推進委員会委員・防災会議委員・町交通安全  
指導員・町交通安全指導員会会長



河村忠治氏



佐藤泰夫氏

10月3日に  
新教育委員長が決まりました。



宮西政志氏

9月30日をもって教育委員長及び  
教育委員を退任しました。



伴 俊行氏

教育委員の任命に同意しました。



荒井文明氏



中島広幸氏

町農業委員を推薦しました。



内山 豊氏



保田政彰氏

町選挙管理委員及び  
同補充員を選任しました。



久保恵昭氏

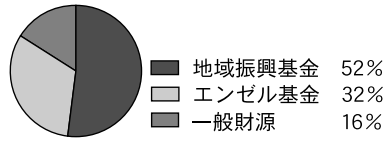


大浦眞則氏

補充員  
松下 一彦 氏  
安田久美子 氏  
畑嶋 賢蔵 氏  
高田 雅晴 氏

# 認定子ども園整備事業を決定

## (京町保育園増築)



事業費の財源構成

### 第2回臨時会

7月8日に開催された第2回臨時会で、認定子ども園として整備をする京町保育園増築予算を賛成多数で可決しました。

#### 増築工事の概要

増築部分に3、4、5歳児の保育室、給食準備室、医務室が設置されます。

遊戯室は現在の1・7倍に広くなり、1歳児の保育室が既存の建物に設置され、2歳児の保育室は2倍の広さになります。



討論のテーマになった給食搬入路

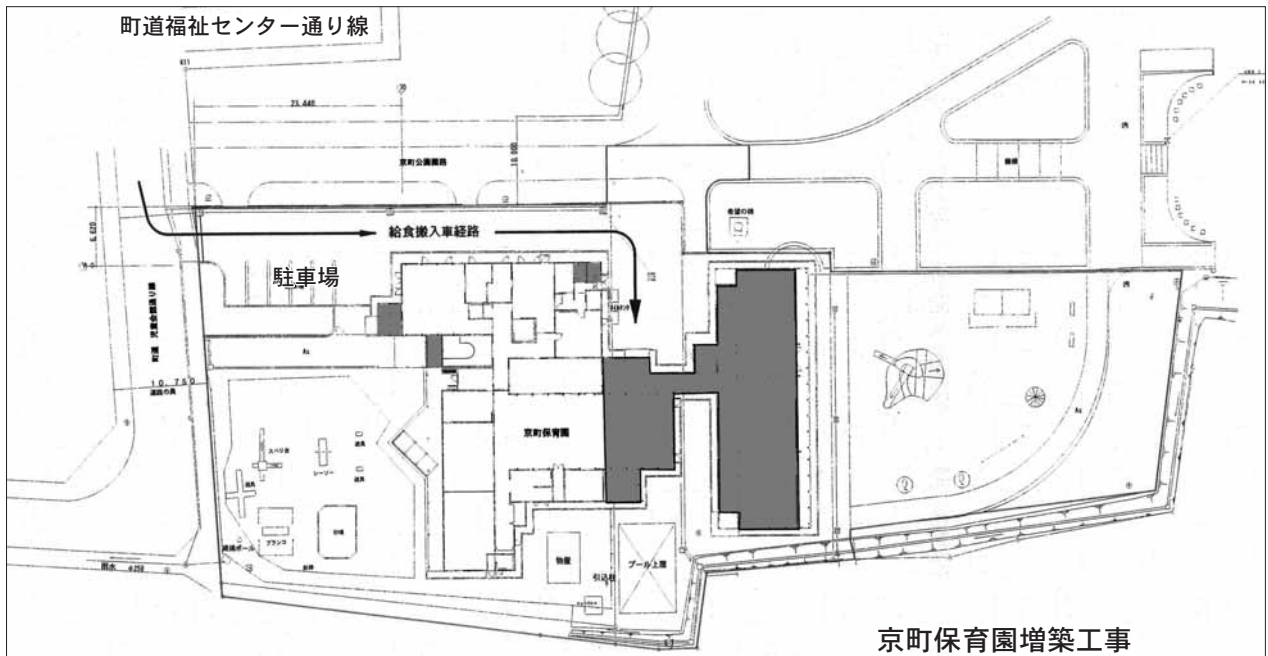
この増築により、定員が60人から100人となり、対象地区の3歳児以上を全員受け入れることができるようになります。給食が、学校給食センターからの搬入となることも大きな変化です。

#### 事業費

1億9千150万円

#### 財源

地域振興基金 1億円  
エンゼル基金6千万円  
一般財源3千150万円



#### 反対討論

下司義之 議員

給食搬入経路については、交通安全上からも児童会館前から侵入するより、町道福祉センター通り線から直接侵入する方が有効だと思われ、駐車場についても町道福祉センター通りに面した位置に設置する方が良いと思うので、反対します。

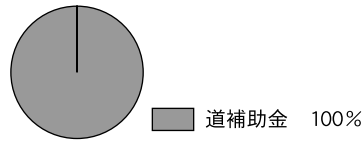
#### 用語説明

#### 認定子ども園

保育所及び幼稚園等で、小学校就学前の子供に保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う施設で、親が働いている、いないにかかわらず利用できる。

議案第3号に対する賛否  
賛成7 反対2 欠席1

# 要援護高齢者等支援システム導入を決定



事業費の財源構成

## 9月定例会

第3回定例会は、9月8日に行われました。

### 要援護高齢者等支援システム導入事業

事業費	498万円
財源	
道補助金	498万円

#### 事業内容

高齢者や障がい者などが安心して暮らせるように、日常的な支え合い活動や災害時の支援体制を構築します。

- ① 要援護者の把握、日常的な見守り支援活動
  - ② 災害時の要援護者の避難支援活動
  - ③ 救急時の医療情報の活用
- 事業費の使途
- ① システムソフト 394万円
  - ② コンピュータ一式 62万円
  - ③ 地図関連ソフト 42万円

## 行政報告

### 1、作物の生育状況

・水稲は、質・量ともに平年を超える良食味米が生産されるものと期待している。

・小麦は、収量が低い状況である。

・馬鈴薯は、いも数が少なく全体に小玉である。豆類は、順調に推移している。

・てん菜は、平年並みの生育となっている。

・牧草は、一番草は順調に進み、二番草の生育も平年並みである。

・ほうれん草は、質量ともに順調な出荷であるが、価格は全体的に安値で推移している。

・ブロッコリーは、出荷が前倒し傾向であり、価格は平年並みである。

・花卉は、質・量ともに順調な出荷であるが、価格はやや安値で推移している。

### 2、厚幌ダム建設事業の今後の建設促進

8月26日、国土交通省において事業継続が正式に決定した。

平成24年度から本體工事に着手し、平成28年度完成を目指す。

町としましても、ダム建設が円滑に推進されるよう、道や関係機関と強に連携し、予算の獲得に努めます。

### 3、いぶり農業共済組合の移転

いぶり農業共済組合の東胆振に分散している家畜診療所の統合建設案については、同組合本部も主削減を行っていましたが、これを、平成24年6月30日までに延長することを決定しました。

これは、8月9日に開催された、町特別職報酬等審議会の報告に沿うものです。



いぶり農業共済組合事務所建設予定地

### 特別職の給与に関する条例等の一部改正

(町長、副町長、教育長) 特別職の給与は、条例で平成20年10月1日から平成23年9月30日まで自主削減を行っていましたが、これを、平成24年6月30日までに延長することを決定しました。

これは、8月9日に開催された、町特別職報酬等審議会の報告に沿うものです。

#### 太陽光発電

京町保育園の太陽光発電施設設置を決定しました。

事業費	1千950万円
財源	
一般財源	150万円
国道補助金	1800万円

#### 表町団地駐車場

表町団地の駐車場増設を決定しました。

事業費	180万円
財源	
一般財源	180万円

# 議会の仕組み② 全員協議会

全員協議会は、議員全員が参加し町の懸案事項などの説明を受け質疑を行います。本会議との大きな違いは議決をしないことです。自由な質疑がなされますので、そういう意味では、議会に求められている本来の姿がここにあると言えます。全員協議会は議事録を作成しますが、現在インターネット中継は行っていません。

全員協議会で説明を受け、話し合われた案件は、8月11日に3件と、9月8日に2件です。内容と主な質疑は次の通り。

## 上厚真市街地整備計画

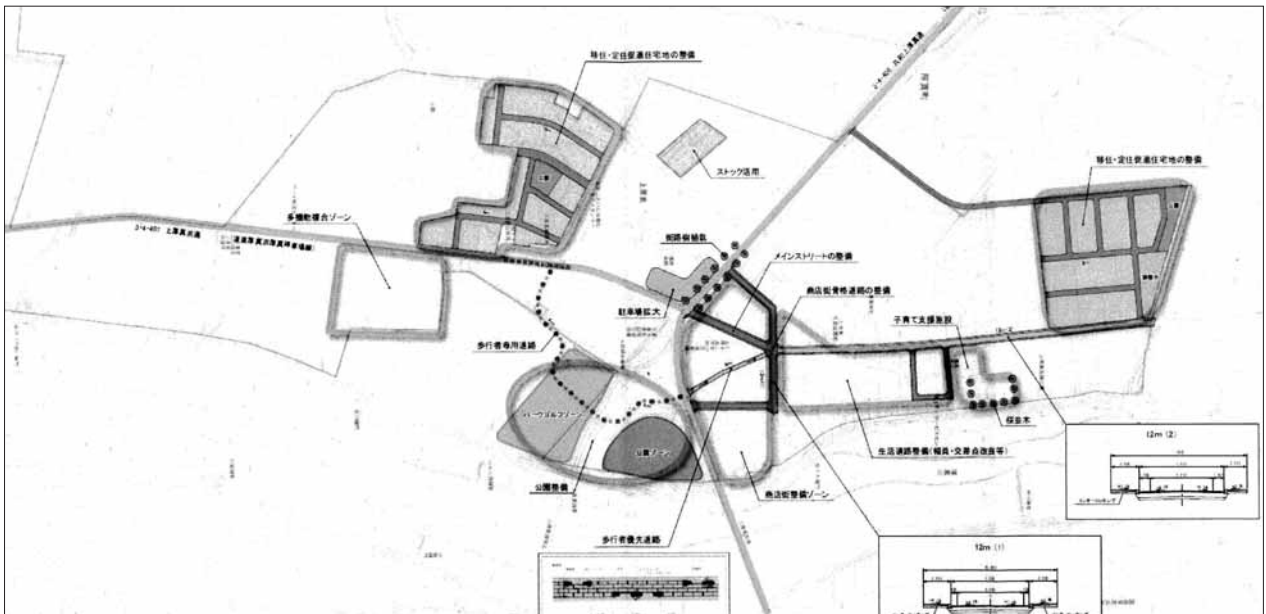
(説明日 9月8日)

**所管** まちづくり推進課  
定住化促進に向けた、上厚真市街地環境整備計画図に基づき説明が行われました。

上厚真市街地の整備計画は、地元で継続した話し合いが行われているが、今回、新たに移住定住促進用宅地を区画整理的手法で整備する案が提出された。

### 主な質疑

**問** フォーラムビレッジとの兼ね合いをどう考えているか。  
**答** フォーラムビレッジは田舎暮らしとして、上厚真は苦小牧、千歳への通勤圏ということと、それぞれ違った魅力があると思う。



上厚真市街地整備計画図

## 家庭ごみの有料化

(説明日 8月11日)

**所管** 町民福祉課  
平成25年度中に実施が予定されている家庭ごみの有料化について審議しました。

現在家庭ごみは袋代の実費を利用者が負担している、処理費は町が負担していますが、負担額は町民一人当たり1万2千円程となっています。

分別収集の推進によりごみの排出量は年々少なくなっていきますが、さらなる減量化、資源化を進めるためには有料化を進めることが有効な方法です。

現在道内自治体では92%弱が有料化を行っており、未実施の苦小牧市も近年中に有料化することから、処理施設を使用させていた、だいたいの町も歩調を合わせ有料化の準備を進めています。

各家庭の負担額は、一人暮らしで月平均1700円程度、4人家族で9000円位になります。

### 主な質疑

## 問 家庭ごみはこの10年間ほとんど減っていない。

繊維リサイクルとか食物油の取り組みなどが反映されていけば住民の意識も変わると思うが、成果が出ていない状況です。有料化というのが本当にいいのか疑問である。

**町長** これまでのいろいろな取り組みに対する効果については、評価の分かれるところである。ただ、これから先も出す側が資源化に向けて相当努力してもらわなければならないと思うし、無料の施設が沢山あるのも適切かどうかは議論しなければならぬ。

**その他こんなことも**  
京町保育園に太陽光発電パネルを設置する工事。

(説明日 8月11日)

苦小牧東港でLNG(液化天然ガス)を、STS(大型船から小型船へ移し替える)を行う計画。

(説明日 9月8日)

第3次厚真町総合計画の平成23年度実施計画。

(説明日 8月11日)

# 町の財布は大丈夫？

## 町の健康状態を判断する4つの数字+大事な2つの数字

	係数名	厚真町	基準値	説明:自治体会計をサラリーマン「厚真くん」の世帯に置き換えて説明しています。
健全化判断比率	実質赤字比率	—	15.0	厚真くんの給与で家計費が賄えていないことの判断です。 <b>厚真くんは賄えているので数字が出ません。</b>
	連結実質赤字比率	—	20.0	厚真くんの家族で家計費が賄えていないことの判断です。 <b>厚真くん一家は賄えているので数字が出ません。</b>
	実質公債費比率	16.0	25.0	厚真くんの給与に対するローン返済額の割合です。基準を下回っていますが、健全化に努めるよう意見がされています。
	将来負担比率	50.6	350.0	厚真くんの給与に対する将来負担しなければならないローンの比率です。基準を下回っていますが、健全化に努めるよう意見がされています。
資金不足比率	簡易水道特別会計	—	20.0	厚真くんの同居の親の生活費に不足が無いかを判断します。 <b>厚真くんの親は生活費に不足がありません。</b>
	公共下水道特別会計	—	20.0	厚真くんの同居の子供の生活費に不足が無いか判断します。 <b>厚真くんの子供は生活費に不足がありません。</b>

### 広報誌づくりの難しさを学んだ

了安正秋 議員

8月18日、札幌で開催された議会広報研修会に、全道107町村から495人が集まり、厚真町議会の広報委員も全員参加しました。

午前の部では、広報コンサルトン深沢徹氏の講演があり、演題は「議会広報、ここがポイント」という事で、ありのままにわかりやすく、「住民とともに」を基本に、議会広報づくりをするという内容でした。

午後からは、三町(和寒町、遠軽町、浦幌町)の議会だよりのクリニックを教材として、ありのままの「議事公開」住民とともに歩む広報づくり、分かりやすい記事と見出し、読みやすい紙面づくりの技術、など三要素を基に研修しました。大変勉強になりました。

広報編集に当たっては、読む人の身になって分かりやすく簡潔、正確、平易な文章、用語になっているか、見出しは具体的で力があるかなど、見出しの重要性を説明されていました。

また、記事の四本柱として一般質問、議案と審議、議会活動、住民登場の記事が欠かせないという事であり、議会広報づくりは8割方が議員の自らの編集となっており、肝心の読者が内容を理解してくれる事が最も大切なポイントと強調しておりました。

最後に講演されていた深沢氏が80歳とは思えない程の若々しくはつきりとした口調で講演、説明されていたのに大変感動させられました。

# 委員会による調査報告がされました。

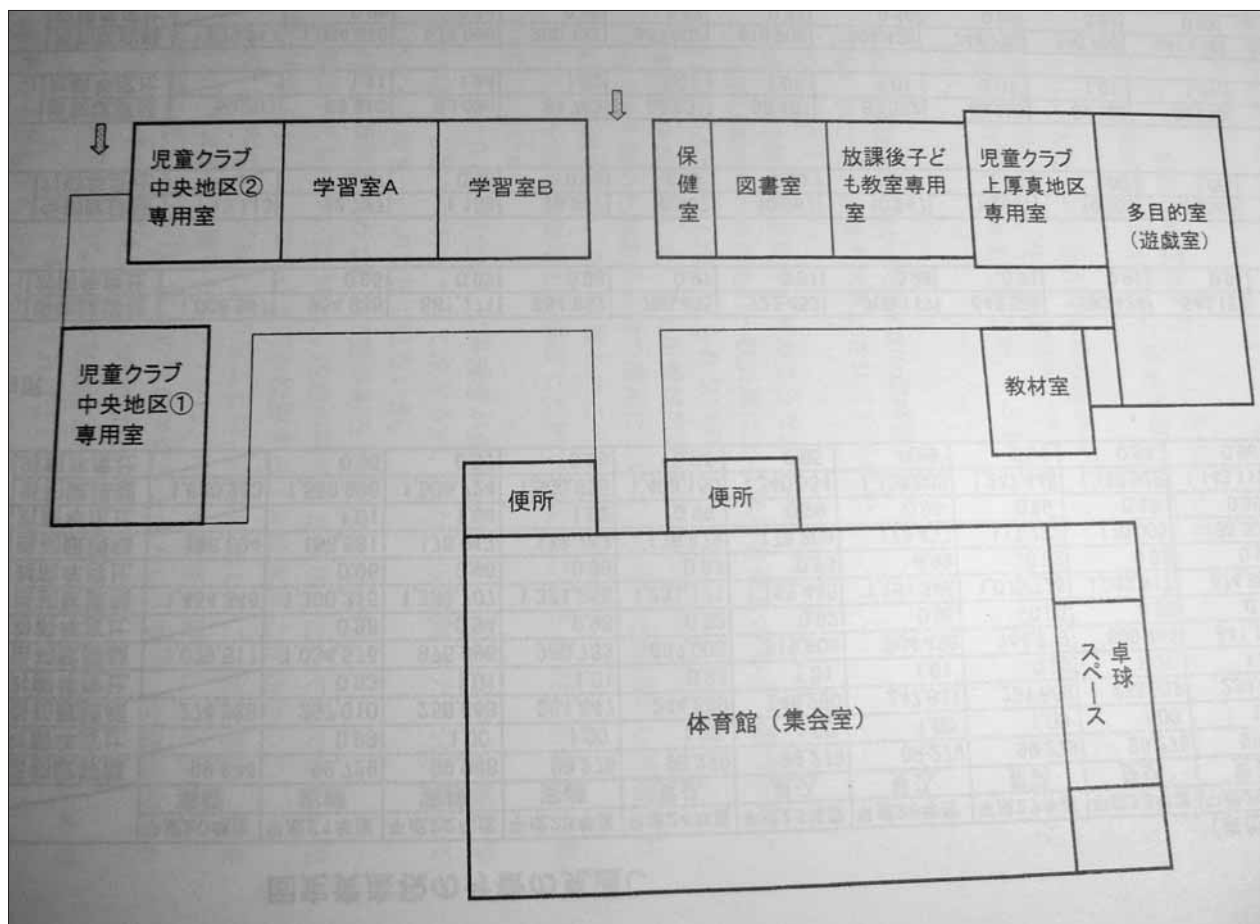
(平成 23 年第 3 回定例会の各委員会による所管事務調査報告)



放課後子どもプランに活用する予定の富野小学校跡地

学校跡地利活用の進捗状況  
 (総務文教常任委員会)  
 所管 まちづくり推進課  
**調査内容**  
 23年3月閉校した富野小学校、軽舞小学校跡地の利活用について、進捗状況の現地調査及び事務調査を行いました。

**問** 富野小学校を活用する場合の年間経費は。  
**生涯学習課参事** 放課後子どもプランに1千430万円、放課後子ども教室に2千400万円、合計3千830万円である。財源としては、補助金1千500万円、保護者の負担140万円を見込んでいる。



富野小学校跡地 (厚真町総合児童センターの配置イメージ (案))



**問** 富野小学校跡地の活用に一般財源から1千250万円を投資するということだが、有効な活用と言えるか。

**生涯学習課参事** 開始後二年度目以降一般財源から1千250万円を持ち出す予定だが、これはあくまで2つの学童がそのまま移動した場合の費用として捉えていただきたい。

**教育長** 費用対効果の関係については十分考えなければならぬと思うが、子供たちが今後の社会を生きてゆくためには、いろいろな体験活動とか子供たち同士と一緒に活動して人間形成をするということが非常に大切だと思つて提案させていただいた。秋口に現時点での状況判断をしてこの先の事業展開を見極めたい。

**問** 一般の人から出された要望、活用の案と委員会の案が合わない理由は、**課長** 建てられるものからではなく、何が望まれているかということ。前提に調査を行った結果、実際にはすぐできない建物用途ばかりがでてしまった。

**問** 都市計画補助で建てられるものは、公共、社会福祉、農漁業に直接関係する施設となっている。**問** 農産加工施設としての利用は。

**副町長** 農産加工施設としての提案もあつた様であるが、事業主体がどこになるかというところで暗礁に乗り上げている。町が直接加工場を行う考えはない。

**問** 町内に3ヶ所あるディスプレイ、ピスをまとめるとか、博物館、資料館、加工施設、福祉施設をまとめた複合施設にしては。**課長** ご指摘の通り単独事業で活用するのは難しいので、組み合わせで考えている。



苫東厚真発電所の固定資産税ばかりに頼るわけにはいかない  
(苫東厚真発電所の写真)

**固定資産税の今後の見通し**  
(総務文教常任委員会)  
所管 総務課

**調査内容**  
固定資産税の平成30年度までの課税見通しについて事務調査を行った。

**問** 仮りに1千500万円の新築住宅に対する固定資産課税額は。

**参事** 評価額が7割で1千500万円となる。仮に1千万円の工事費であれば、固定資産税額は5万5千円ぐらい。ただし、住宅が120平米までであれば税額軽減により3年間は半額の2万7千5百円、4年目からは満額となる。

**問** 1千万円の土地を1月1日に購入した場合の固定資産税額は。**参事** 宅地は実際の売買

実例価格が評価額になる。1千万円で買うと7万8千円となる。土地についても建物と同じように軽減措置がある。

**問** 大規模な投資をするような会社の誘致を考えると、**副町長** おっしゃる通りで、既存の企業には設備投資が今後どのような状況で進むのかという問いかけはしているのだが、なかなかはっきりした返事は返って来ない。ただ今までの経過を見ると、北電あたりも修繕的なものに結構な投資をしているし、下がってきていない。今後メガソーラー発電に関係する施設の誘致を働きかけていきたい。

**問** 固定資産税の滞納額は。**主査** 滞納額は平成22年度分が353万円で、平成21年度繰越分2千450万円と合わせると約2千700万円が滞納とな

っている。**問** 不納欠損は。**主査** 法令にのっとつて、徴収義務を5年経過したものについては時効を迎えるので不納欠損している。

**問** 回収はどのようにしているか。**主査** 固定資産税については基本的に財産に対する課税であるが、すでに手放してしまつている場合は調査をするのだが、課税対象者が存命でない場合や、企業が倒産して会社の実態が無い場合は、いかんともしがたく、不納欠損として処理している。

**問** 滞納2千700万円の徴収可能性は。**主査** 3分の2は企業2社で、いずれの物件も不動産、動産等を差し押さえ中である。残り3分の1はあらゆる方法で滞納処分を実施している。



被災者用住宅として用意した本郷向陽団地

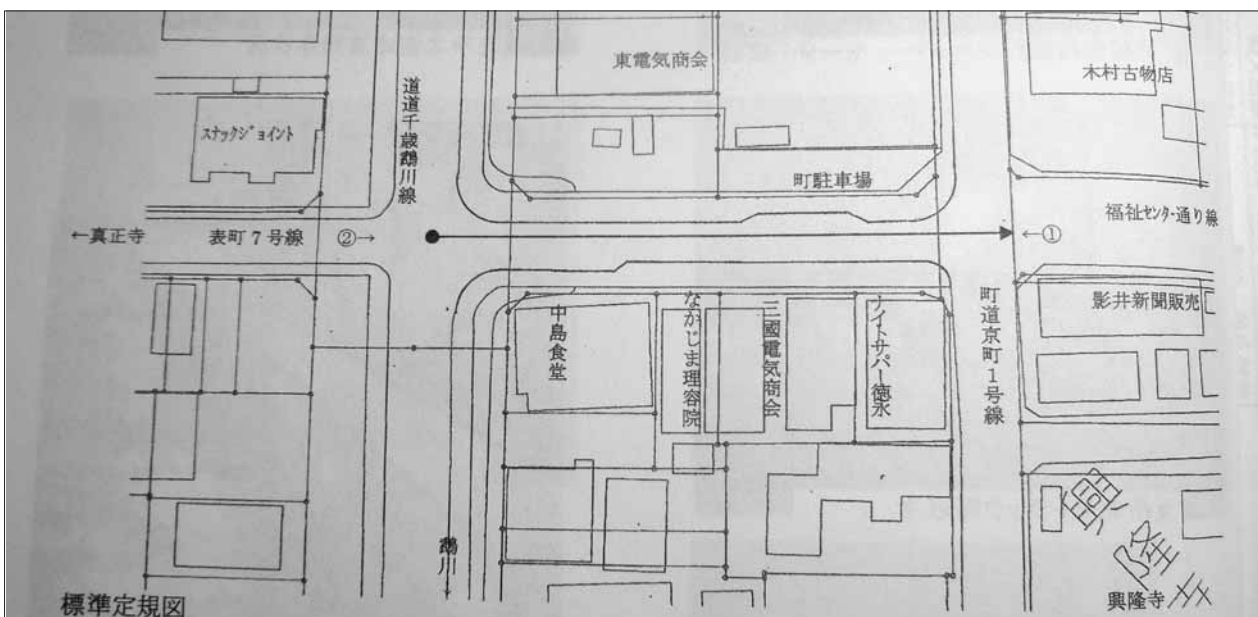
被災者支援としての上厚真C団地及び向陽団地（総務文教常任委員会）  
 所管 まちづくり推進課  
**調査内容**  
 町が東日本大震災被災者用受入住宅として位置付けている、上厚真C団地及び向陽団地の公営住宅について事務調査及び現地調査を行った。



厚真町が被災者用住宅として用意した上厚真C団地

**問** 住宅の整備費は。  
**参事** 修繕については1戸50万円平均を予定しています。  
**建設課主幹** 修繕の内容は、個々の状況が違うので、そのつど状況に応じて対応します。

京町2号線の状況（産業建設常任委員会）  
 所管 建設課  
**調査内容**  
 交通安全上問題が有る京町2号線の事務調査と現地調査を行った。  
**問** 歩道のインターロッキングが、かなりでこぼこになって雨が溜まっている状況も確認したが、修繕の見通しは。  
**主幹** 順次修繕していきます。  
**問** 京町2号線については、昨年に引き続き所管事務調査の対象となったのは、解決されない大きな問題があるということであるが、どのように受け止めているか。  
**課長** 昨年1月の調査は、ゴミ箱の位置や標識をもっと見やすいようにしていただきたいということで、既に改善済みです。



交通安全上問題が多い京町2号線（道路図）

**問** 京町2号線は歩道をインターロッキングにして幅も広くし、商店街で

どういう活用性が有るかなどを試験的に行ったもので、既にその結果が出ているのだから、車道幅

を広くするなど、もう一度検討する必要があるのでは。

**課長** 路盤構成など、やり直すとなると膨大な費用がかかるので、利用できるものは利用して、交通安全の障害になるものをできるだけ少なくする方法を考えて、インターロッキングがいよいよ劣化して、どうにもならない時には修繕をおこないます。

**問** 厚南中学校の裏側の道路は、舗装した方が良いと思うが。

**課長** 地権者の同意が得られず未舗装となっている。

**問** 既存の町道で、大型の排水路（カルバート）の前後がかなり下がっているところがあるが、年次別改良計画に入っていないところも早急に対応すべきと思うが。

**課長** 整備計画以外でも、修繕箇所は適宜巡回して、優先度の高いもの、あるいは危険な所は優先的に整備したいと考えています。

**問** 既存の町道で、大型の排水路（カルバート）の前後がかなり下がっているところがあるが、年次別改良計画に入っていないところも早急に対応すべきと思うが。

**課長** 整備計画以外でも、修繕箇所は適宜巡回して、優先度の高いもの、あるいは危険な所は優先的に整備したいと考えています。

**問** 厚南中学校の裏側の道路は、舗装した方が良いと思うが。

**課長** 地権者の同意が得られず未舗装となっている。

**問** 既存の町道で、大型の排水路（カルバート）の前後がかなり下がっているところがあるが、年次別改良計画に入っていないところも早急に対応すべきと思うが。

**課長** 整備計画以外でも、修繕箇所は適宜巡回して、優先度の高いもの、あるいは危険な所は優先的に整備したいと考えています。

**問** 厚南中学校の裏側の道路は、舗装した方が良いと思うが。

**課長** 地権者の同意が得られず未舗装となっている。

**問** 既存の町道で、大型の排水路（カルバート）の前後がかなり下がっているところがあるが、年次別改良計画に入っていないところも早急に対応すべきと思うが。



スタードーム補修工事の確認（産業建設委）



浜厚真災害復旧状況の確認（産業建設委）



子育て支援としての京町保育園（総務文教委）



幌里町営牧場の状況確認（産業建設委）

**画** 今後3年間の町道整備計画（産業建設常任委員会）  
**所管** 建設課

**調査内容**  
今後3年間の町道整備計画について事務調査を行った。

**事**  
・幌里町営牧場  
・浜厚真災害対策

**その他こんな現地調査もしました。**  
（総務文教常任委員会）  
・子育て支援としての京町保育園

# 教育充実のため中学校の統合を

## 一般質問

ここが  
聞きたい？

**答** 具体的に検討していない

**中学校の学校統合**  
【問】 学校教育充実のため、現在町内に2校ある中学校を1校に統合できないか。  
現在町内の中学校生徒は、2校合わせて135人である。  
学級数も6学級であるが、国が目指す適正基準値は12から18学級と聞いている。  
道内の適正化率は49・2%である。  
厚真町において、学級数を考えると統合すべきでありますが、時期尚早であるか私にはわかりませんが、開口一番、この統合について質問させていただきます。



井上次男 議員



厚真中学校



厚南中学校

**教育長** 今厚真中学校、厚南中学校合わせて125人の生徒が学んでいて、10年後の児童数は15%減になると推測しています。ご質問の中学校統合に

つきましては、それぞれの地域の文化を高めてゆくといいことでもありますので、保護者や地域の皆さんの意見も十分踏まえて考えていく問題であると思っています。  
今、地域や保護者から将来の子供数減少を見据えた学校統合についてのお話がありませんので、委員会では今のところ具体的に検討はしていません。

### 防災上、町内の要所に標高図表啓示をできないか

**答** 主要地点に表示する。



高丘では家ごとに標高表示されている。

### 防災対策

**問** 町の要所に標高表示して、町民が黙っていても目に入る状況をつくるのが防災上必要かどうか。

**こんな質問もしました**  
厚真ダムの今後の進捗状況は。

**町長** 3月11日に起きた東日本大震災を契機に全国でこの標高表示をする取り組みが始まっている様であります。

**説明** この質問は、町長が行政報告の中で説明いたしました。

町としても主要地点、防災マップに標高表示をするよう、24年度予算編成の中で検討いたします。

内容は、8月26日国土交通省において建設工事の継続が正式に承認され、平成28年度完成を目指すというものであります。

## 一般質問

ここが  
聞きたい？

# 富野・軽舞小学校跡地の利用は

**答** 個別の申請内容で判断する

### 学校跡地の利用

**問** 富野、軽舞小学校をどのように利用するか、また、利用にあたっての規定や規則について。

**教育長** 跡地活用については、まちづくり推進課が中心となって町有地利活用検討委員会で検討されています。

教育委員会としても検討し、提案させていただいています。

富野小学校跡地については、子供たちの放課後の充実を図る施設に活用したいということで、昨年からは準備を進めています。

軽舞小学校跡地については、今まで利用の申し出がないので、利用に関

しては実績もありません。教育委員会としては、

資料保存や埋蔵文化財収蔵、展示施設として検討しています。



利活用の提案を待つ軽舞小学校跡地の記念碑

ないので電気、水道を止めていますので、施設を使用する場合、そういったものの復旧をしなければなりません。

利用料に関しては、社会教育的な活動の中で町民が利用する場合は利用料がかかりません。占有的に権利を得て借りる場合は条例に基づいた賃料が発生すると思います。

**問** 富野小学校跡地は現在活用されているということも有り、周辺がきれいなになっているが、軽舞

小学校跡地は荒れてきている。跡地には記念碑や記念塔などもあるが、今後の環境整備をどのように考えているか。

**教育長** 環境の維持については十分するようにという町長の指示もありますので、適切な管理をしています。雨が降ると草刈り作業が若干ずれ込んだりしますが、基本的には閉校前と変わらないように、記念碑周りも含めて維持管理いたします。



大捕孝吉 議員

**問** 自治会、団体などから使用の申し出があった場合の対応は。  
**教育長** 貸し出しをすることを前提にしながら、個別に判断します。  
軽舞は春から申し出が



活発に利用されている富野小学校跡地

# 保育園の実質無料化を

## 一般質問

### 答 軽減、均一化も含めて取り組む

ここが聞きたい？



下司義之 議員

#### 子育て支援

**問** 平成24年度から認定子ども園がはじまり、保育環境が大きく変わろうとしています。

保育料に関しても、保育園に幼稚園がセットになることから当然見直しが行われると思います。三笠市が今年7月から2600万円の予算をかけて保育園と幼稚園の授業料を実質無償化いたしました。

厚真町の平成23年度保育料等の予算額は2200万円です。

思い切った実質無償化に持って行ってはいかがでしょうか。

**町長** 完全無償化できるかどうかには重い課題が

あります。町の財政にも限りがありますし、本来である保育のための保護者の負担と、昨今の社会的な動向である子育てを社会全体でみようという

機運をどう兼ね合わせていくかということが大切であります。さらに軽減したいと考えています。**問** 保育料負担の不公平感に対する考えは。**町長** 保育料そのものの在り方については、応益負担が原則であるという考え方に立つと、当然均一であるべきと考えます。その上で軽減措置を講ずるといふことだと思えます。



工事が進む京町保育園

### グリーンツーリズム推進の障害になっっている法的規制対策を

## 答

### まず、市町村計画を定める。

#### グリーンツーリズム

**問** 現在町内は市街地、幌内、高丘を除くほとんどの地域で、飲食、宿泊などを伴う事業に対して規制が有り、グリーンツーリズムのさらなる推進のためには、この規制に対する対策が必要と思っております。

**町長** 現在、町内は都市計画の中で法的により規制が厳しい地域指定がされています。グリーンツーリズムは、農村空間が持っている資源を都市住民の方々に提供し、交流を深めることによって活用し、結果的に農村地域の活性化を図っていくという目的から考えると、調整区域でも十分グリーンツーリズムの推進が図れるのではな

いかと考えていました。ただ、現状では農山漁村滞在型余暇活動のための基盤整備の促進に関する法律に基づいた市町村計画を定めて、その計画に適合した施設でなければ都市計画の開発許可がおりないという現状であります。

町としては、まず早急にこの計画を定め、最終的には都市計画区域そのものを圧縮していくような方法も検討しなければならぬのではないかと考えています。

**こんな質問もしました**  
町内限定第二の通貨の積極的活用は

**答** 子育て支援券の適用拡大など、還元できるサービスがあるか検証してみたいと思います。

## 一般質問

ここが  
聞きたい？

# グループホームの 入居待機者対策は

答 協議会で議論していただく

### 介護サービス基盤整備

**問** 本町において65歳以上で介護を必要とする人は33%を上回っています。在宅で生活が困難な高齢者が、安心して生活できる基盤整備が必要だと思いが。

**町長** 本町も65歳以上の高齢の方が32・7%にもなる現状です。さらにその方々の55%が75歳以上です。

そういう意味では、地域の安全を確保するため幅広い視野で様々な施策を複合的に実施していきます。

介護については、町内で介護認定を受けた方が260人近くいます。認定者は徐々に増えている

状況にあります。

さらに、介護度4、5の要介護度の重い方も徐々に増えつつあり、これは高齢化率が上がれば当然の結果だと思います。



グループホームやわらぎ

ムは時代に合わせてユニット数を増やしていく必要があります。

ひとり暮らしが難しくなった方が共同で生活する「ともいき」の様な施設は、現在満室でありますので、今後町内にどう配置していくかということを検討します。

### グループホーム

**問** 現在グループホームの待機者が15人ぐらいいるということであるが、施設をもう一つ建てる必要があるのでは。

**町長** 待機者が十数名居るのは指摘の通りであります。今すぐに入所したいという方々ばかりではないという状況にあります。

幸い本町にある介護度の重い方が対象の特別養護老人ホームは、それ程待機していただくことなく受け入れる状況が続いていますので、心配していません。

### 保険料の値上げ

**問** 第一号被保険者の保

険料見直しによる値上げ額は。

**町長** 1号被保険者数は横ばいで、介護認定者が増えていきます。給付サービスも厚真町は充分充実していると思っております。給付サービスが充実し、利用率が上がれば保険給付も上昇しますので、どうしても保険料は上昇傾向になります。

現在保険料見直しの作業中ではありますが、現在の四千円が五千円になることはないと思いますが、あくまで想定範囲であり、超える可能性もあるということをご承知ください。



三國和江 議員

こういった方々が介護福祉サービスを十分に選択していただけるよう、サービスの充実に努めていかなければならないと思います。

# 上厚真ベアーズ

指導者 内山秀司さん



## 地域の話題②

### 軽舞熱送り太鼓



る。稲の疫病払いや豊作祈願だけでなく、開拓者全員が集まり、ご馳走を食べ、故郷を偲んで酒を酌み交わし、励ましあつたという。昔は、肩にかついで運び打ち鳴らしたが、現在ではトラックに積んで移動している。

この大太鼓は、直径80センチ、長さ1・5メートルあり、昭和48年に厚真町の民族資料第一号に指定された。

毎年7月31日、軽舞農業実行組合の面々が、軽舞第一ダムの一角にある戸隠神社に集い、大きな締め太鼓を打鳴らす。そ

れから地域の主な地点を廻ると共に、この一年間に、結婚、出産、新築等の慶事のあつた家々に立ち寄って太鼓を打ち、豊作、家内安全等を祈願する行事である。

この祭事は、明治35年の水稲の熱病被害を契機に、翌年、富山県福光地方に伝わる「熱送り、又は虫送り」と呼ばれる風習を取り入れたものであ



軽舞農事組合長  
斉藤 真吾さん

#### 議会広報特別委員会

- 委員長 井上次男
- 副委員長 大捕孝吉
- 委員 木本清登
- 委員 吉岡茂樹
- 委員 了安正秋
- 編集長 下司義之